

令和6年第422回信濃町議会定例会2月会議再開あいさつ

令和6年2月1日
信濃町長 鈴木 文雄
議会議事堂にて

第422回信濃町議会定例会2月会議の再開にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。議員各位におかれましては、公私とも誠にお忙しいところをご出席賜り、厚く御礼を申し上げます。

はじめに、能登半島地震につきましては、発生から1か月が経過しようとしておりますが、現在も多くの方々が避難所に身を寄せていると伺っております。姉妹都市であります能登町におきましても、多くの住宅が倒壊し、断水が未だに解消されないなど極めて厳しい状況が続いており、また今後の復旧、復興には多くの時間が必要になると見込まれております。その一方で、道路の復旧が徐々に進み、宇出津港では特産の寒ブリが水揚げされているとの報道もありましたので、少なからず安堵しているところです。

信濃町としての対応でございますが、能登町のふるさと納税の代理納付を受付けており、これまでに約1千万円の貴重なご寄付をいただいております。また、今月10日からは石川県羽咋町ほかへ職員を派遣する予定でございますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

さて、今回の会議に提案申し上げます議案でございますが、条例関係2件、令和5年度の補正予算につきましては、一般会計と病院事業会計の2件、合わせて4件を予定しております。

このうち一般会計に関しましては、ふるさと納税の増額に関するもののほか、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を原資とする特別給付金の支給に関する経費など、総額1億2700万円余の増額補正をお願いするものでございます。

いずれも重要な案件でございますので、ご審議を賜り、ご決定くださいますようお願い申しあげ、再開のあいさつといたします。